

【NEWS RELEASE】

2024年7月26日

各位

株式会社三井住友フィナンシャルグループ
株式会社三井住友銀行
三井住友 DS アセットマネジメント株式会社

欧州におけるプライベートクレジットファンドの設立について

株式会社三井住友フィナンシャルグループ（執行役社長グループ CEO：中島 達、以下、当社グループを総称して「SMBC グループ」）傘下の株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕、以下「三井住友銀行」）は、欧州においてプライベートクレジットファンドを設立したことをお知らせいたします。また、同ファンドに対して三井住友 DS アセットマネジメント株式会社（代表取締役社長兼 CEO：猿田 隆）は LP 投資家として参画をしております。今後は SMBC グループ各社とも連携しながら、国内外の投資家の皆さまに対して、最善の利益に資する運用商品の拡充に尽力してまいります。

オルタナティブ資産への投資家の需要を背景に、プライベートクレジットの残高は拡大傾向にあります。そのような背景を受け、強みとしてきた三井住友銀行の商業銀行モデルをベースにしたレンディングノウハウを存分に活用し、プライベートクレジットファンドを立ち上げました。立ち上げにあたっては Campbell Lutyens 等を外部アドバイザーとして起用しました。本ファンドは欧州でミドルマーケット LBO への投資を行い、景気動向の影響を受けにくい業種や強固なビジネスモデルを有する先へフォーカスした運用を行います。投資金額は 450 百万ユーロで、SMBC グループはファイナンスに関する助言を本ファンドに対して提供します。

SMBC グループでは、本年 1 月 24 日付で公表したプレスリリース（「資産運用ソリューションプロバイダー」へ向けたグループ戦略の方向性について）において、資産運用ビジネスにおけるグループとしての対応指針を示すとともに、昨年 12 月に政府により公表された資産運用立国実現プランに賛同を表明いたしました。同指針における主要施策の 1 つとして、グループ内の人財やノウハウを活用し、オルタナティブ資産分野における新たな運用に取り組み、強みとする国内資産運用戦略に次ぐ第二の柱を構築する目標を掲げております。本ファンドの設立は、このグループ全体の方針に沿った施策であり、今後はアジア大洋州や米州などグローバルに同種の取組を展開していく所存です。

今後も、SMBC グループはグローバルベースで資産運用ビジネスの高度化に努め、海外で培った経験を活かして、国内外の投資家に魅力ある投資機会を提案し、投資ポートフォリオの多様化に貢献する方針です。